

予想できなかった2020年、 法人設立15周年の節目の年。

代表挨拶

年初には、だれもこのような年になるとは考えていなかったであろう2020年、そして夏にはオリンピック・パラリンピックが待っているはずだった節目の年。

私どもは1人でも多くの障害者を自然の世界へ誘えればと、原点回帰ともいえるような計画を推し進めていました。しかし、自分たちの力ではどうにもならないような、社会を覆う「大きな壁」と向き合う日々となってしまいました。

多くの活動、事業は長い期間中止を余儀なくされ、再開後も大幅に規模を縮小していますが、それでもたくさんの方々に支えられ、自分たちなりの新しい原点回帰の16年目を迎えることができました。

実際に登る時間を共有することの大切さに向き合うことで、その価値に改めて気づくことができたこの経験を、モンキーマジックが紡ぐ未来社会へとつないでいきたいと思えます。

2021年 1月 代表理事 小林 幸一郎

活動要旨

新型コロナウイルスの影響により主催事業は幾度も延期・中止が余儀なくされました。しかし、持続化給付金など緊急経済対策を活用してスタッフの雇用を守りながら、感染拡大防止の施策実行、オンラインを活用した運動機会の提供、そして活動再開に向けた時間を費やした結果、会計では昨年度に比べて減収となりましたが、新期を迎える準備を整えることができました。

クライミング施設等運営事業「ボルダリングジム モンキーマジックつくば Q't」は一時臨時休業となりましたが、休業中は壁面のリニューアルを行い、再開後は感染対策を講じた店舗環境のなか、多くのお客様に来店いただくことができました。

副代表 水谷 理

NPO法人モンキーマジック活動報告書



Summary

目次



代表挨拶・活動要旨

▶ P1

VOICE 参加者の声

▶ P3

TOPIC 2020年のトピック

▶ P4-5

主催事業① 交流型クライミングイベント/スクール・ロープクライミング会

▶ P6

主催事業② 地域交流事業

▶ P7

受託事業

▶ P8-9

メディア掲載・出演

▶ P9

サポートグッズ

▶ P10

寄付・協賛

▶ P11

モンキーマジックについて

▶ P12

SINCE 2005

MONKEY MAGIC

Voice 参加者の声

主催交流イベント(東京) 参加者 さとりさん

聞こえないわたしからは、見えない方はとても遠い存在のように感じていたが、関わってみると気さくな方が多く手話も覚えてくれてとても嬉しかった。

ハンデがあってもなくてもスポーツを楽しもうとする精神はみんな等しく持っているのだと知った。

ハンデを理由に諦めるのではなく、ハンデをきっかけにどう越えていくか考えるようになりました。



さとりさん 20代(写真左から2番目)

主催ロープクライミング会 参加者 畠山 直久さん

同じ目的を持つメンバーが、クライミングを一緒に楽しみつつ、ほんの少しだけ支え合うという関係性が健常者が障害者をサポートするという一方的なものとは違うから、心地よいのだと思います。

障害の有無にかかわらず、もっと多くのクライミング仲間と関わりたいです！



畠山 直久さん 48歳(写真中央)

主催交流イベント(東京) 参加者 菊池 真生さん

障害に関係なくクライミングができるのが良い！

目が見えていてもナビゲーターをしてもらえるのが嬉しい。

目が見えない人だけでなく、他の障害がある人も誰でも楽しめるなら、私でも参加できる試合を年齢別などで開いてほしい。

もちろん、賞品つきで！



菊池 真生さん 10歳(写真 左)

主催交流イベント(横浜) 参加者 達也さん

(交流イベントに参加するようになって)職場での人間関係での立ち回りが少しスムーズにできるようになってきたかもしれない。

障害の有無、年齢関係なく、今まで会ったことのない人とも、クライミングを通じて交流できるところが良い！



達也さん 23歳(写真右)

Topic 2020年のトピック

YouTube動画 絶賛配信中!

ステイホーム期間中にできることをと、動画コンテンツを充実させています!

「おうちで健康運動」シリーズ

代表小林による、こもりがちで、運動機会が少ない視覚障害当事者向けの運動メニュー動画。月～土曜日まで、毎日できる1週間分のプレイリストは、ブラインドサッカー協会のHPでもシェアされました。



杖や義足を外して楽しむボルダリング! 片脚クライマーインタビュー編

片脚クライマーの結城さんに、代表小林が障害のこと、クライミングを始めたきっかけなどをインタビュー! 結城さんの軽やかな登りは必見です!



チャンネル登録
よろしくお願いします!

NPO法人モンキーマジック(NPO MonkeyMagic)

インタビュー記事公開

今 誰よりも登らせてあげたい人の話 - 右半身麻痺のあるミキさん

弊会のスクールに参加してくれたミキさんに、その人となりや自分の身体やクライミングへの想いなどをスタッフ・うっちーがインタビュー記事にまとめました。

記事はこちらから



まそび倶楽部を始動

視覚障害がある子どもたちの、余暇活動の機会の少なさや交友関係が広がりづらい課題に対し、これまでの経験を活かして【まそび倶楽部】を立ち上げました。

2020年は新型コロナウイルス対策を講じつつ、川遊びとハイキングを行いました。

※本事業は、公益推進協会 HF子ども基金の助成事業として開催いたしました。

※今後の活動を一緒に楽しんで参加して下さるサポーター(ボランティア)を募集しています。詳しくはこちら



法人設立 15周年

2020年8月25日を持ちまして、法人設立15周年を迎えました。日頃のご支援に対する御礼と一層のご支援のお願いを発信させていただきました。



LINEスタンプ発売

きっかけはクライミングイベントでボランティアスタッフを務めるアイビーが、聴覚障害の参加者の方へ情報保障に描き添えていたイラストから生まれたおさるのキャラクターです。



LINEクリエイターズスタンプ

「さるも岩にのぼる」(価格:120円)

LINEストア URL: <https://store.line.me/stickershop/product/12151774>

弊社主催コンペ開催

11/22(土) 第6回 目かくしコンペ『見ざるチャレンジクライミング』

@クライミングジム NOSE町田店

出場ペアがアイマスクを着用し、互いのナビで登る主催クライミングコンペ『見ざるチャレンジクライミング』は、当初開催自体が危ぶまれました。受付や予選を前後半の2つの出場グループに分けたり、換気・消毒の徹底、無観客による決勝ライブ配信を行う形で、ボランティアの皆さまの力もあり、開催が叶いました。

出場者全員がマスクとアイマスク着用という異例の状態クライミングを競う、忘れることのできないコンペになりました。

<協賛企業>

THE NORTH FACE (株式会社ゴールドウイン)

CHUMS(株式会社ランドウェル) | アサヒ飲料株式会社 | 株式会社シーワテック

ボルサウルス | アンダーグラウンド



photo by TKD Photo



モンキーマジックつくばQ't 新店長!

3月28日に6周年を迎えたボルダリングジム モンキーマジックつくばQ'tでは、オープンからジムを支えてくれたザワに代わり、新店長が就任。

新店長は、これまで「花子の部屋」などの定期イベントを中心スタッフとして盛り上げてきた花ちゃんです。新生モンキーマジックつくばを今後ともよろしくお祈いします。



マンデーマジック東京が第100回!

「マンデーマジック東京」は2012年4月より高田馬場のエナジークライミングジムにて始まった、毎月第2月曜の初の主催・交流型クライミングイベント。

緊急事態宣言により、数ヶ月にわたり中止を余儀なくされましたが、再開後の11月に迎えた第100回では参加者の皆さまとささやかにお祝い。初回から一度も欠かさず参加してくれた参加者の「タカさん」には、私たちから感謝の気持ちを込めて世界に一枚のゴールド・名入りTシャツをプレゼントしました。



「心のバリアフリー、こばちゃんが教えてくれたこと」

交流型クライミングイベントに参加した小学4年生の菊池 真生さんがその経験をもとに作文を書き、読売新聞社 第70回全国小・中学校作文コンクールにて都道府県審査優秀賞を受賞しました。

受賞作品はこちらから

保健文化賞を受賞!

第一生命保険株式会社が主催する第72回「保健文化賞」にて、モンキーマジックの15年にわたるクライミングを通じた多様性理解促進活動が評価され、受賞団体のひとつに選ばれました。(※授賞式は2021年に延期)

主催事業

2020年主催事業
開催回数 **83回**

コロナ禍により回数や参加者数は激減したが、障害者の参加比率は高く、モンキーマジックの活動が大切な運動機会になっていると実感できた年になりました。

参加者の内訳



うち障害者 **352名**
(視覚/聴覚/上肢・下肢、重複含む)

昨年のデータ
開催回数: 211回
総参加者数: 2,496名
うち障害者968名

交流型クライミングイベント

障害の有無関係なく参加、交流し合えるイベントで、過去累計1,000人以上が参加しています。

マンデーマジック東京 6回開催

@エナジー高田馬場店(2020年12月閉店)

参加者 126名	障害の内訳
内障害者 63名	視覚障害 49名
	聴覚障害 8名
	その他 3名



マンデーマジック横浜 7回開催

@クライミングジム RISE(神奈川・戸塚)

参加者 68名	障害の内訳
内障害者 29名	視覚障害 24名
	聴覚障害 4名
	その他 1名



※本事業は「お金をまわそう基金」に一部支援いただきました。

主催イベントへの参加者の声は

▶ P2 Voiceにて

スクール・ロープクライミング会

障害者クライミングの普及やパラクライマーの育成を目的に、指導を行います。

インドアスクール 8回開催

参加者 41名	障害の内訳
内障害者 36名	視覚障害 32名
	聴覚障害 1名
	上肢/下肢 3名



キッズスクール 5回開催

参加者 14名	障害の内訳
内障害者 5名	発達障害 5名



ロープクライミング会 13回開催

参加者 72名	障害の内訳
内障害者 60名	視覚障害 39名
	上肢/下肢 21名



アウトドアスクール 4回開催

参加者 13名	障害の内訳
内障害者 10名	視覚障害 8名
	聴覚障害 2名



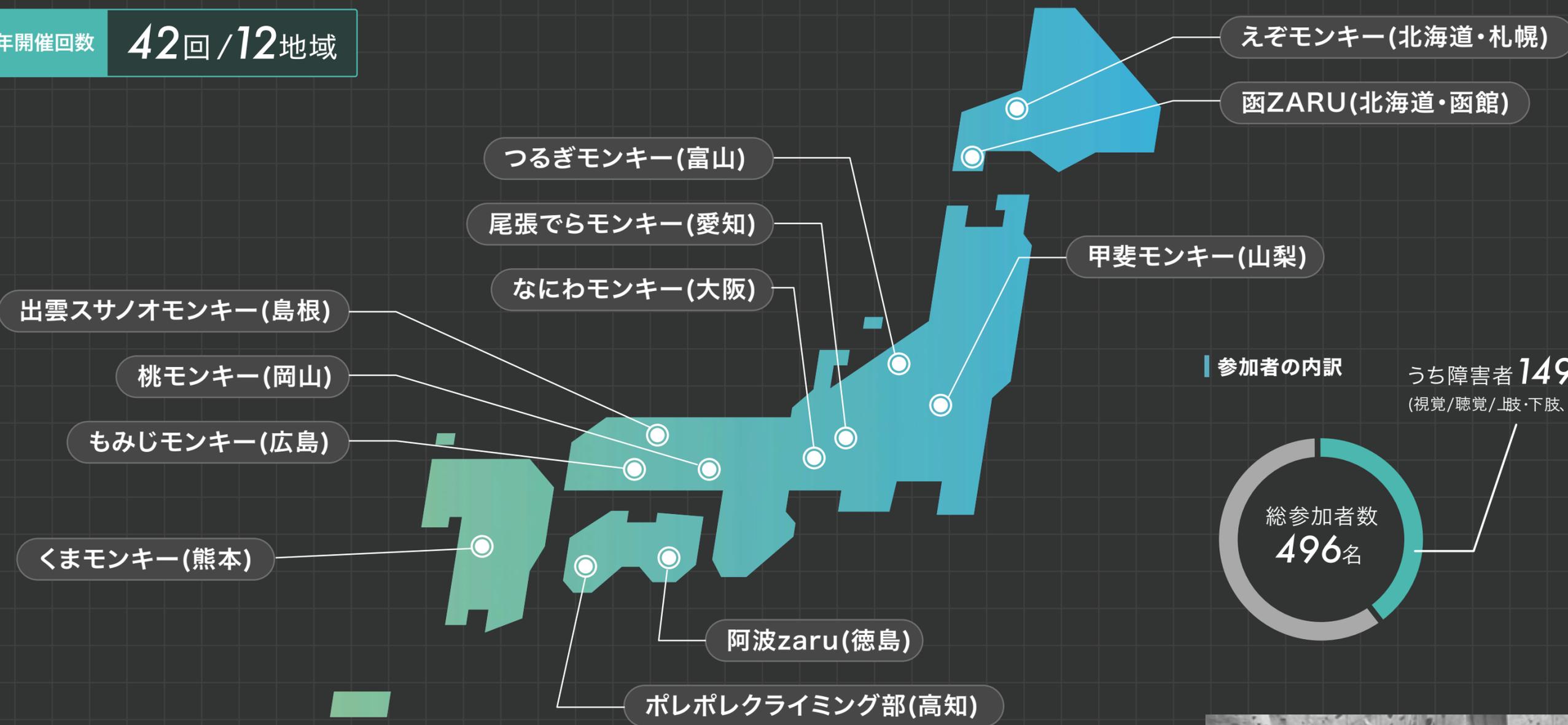
※本事業は、一般財団法人タチバナ財団の助成事業として開催いたしました。

全国交流型クライミングイベント

活動趣旨に賛同してくださった有志によって、弊社主催イベントのある東京・横浜以外に、全国12カ所で定期的開催・運営されています。

2020年開催回数

42回 / 12地域



参加者の内訳

うち障害者 **149**名
(視覚/聴覚/上肢・下肢、重複含む)



全国交流型クライミングイベントの3つのポイント

- 地域の人々が主催して定期的開催する地域に根ざしたクライミングイベント
- 障害の有無や年齢・性別・国籍などの違いに関係なく、全員が同じいち参加者
- 新しい人と人がつながり、多様性を認め合い、クライミングを楽しむ仲間になれる場所

あなたのお住まいの近くで開催しているイベントをチェック!



受託事業

モンキーマジックでは、企業や行政、教育関係に向けた様々な講演会やワークショップを行っております。

ZOOM等を使用した講演が増えた2020年。これまで届かなかった人たちに活動を知ってもらえる機会や接点が増えたと感じつつ、リモートでお伝えできる価値について改めて考える機会になりました。

受託／普及・啓発・広報事業

1月

千葉日本大学第一中学校にて講演

委託元：千葉日本大学第一中学校・千葉日本大学第一高等学校
千葉日本大学第一中学校(千葉県船橋市)の中学3年生を対象とした福祉教育の授業にて代表小林が講演しました。



亜細亜大学の講演会に代表小林が登壇

委託元：亜細亜大学
亜細亜大学障がい学生修学支援室主催公開講演会「パラスポーツの魅力、これでわかります!」に、花岡 伸和 氏(ハンドサイクリスト・元パラ陸上競技選手)とともに、代表小林が登壇しました。

東京都立桐ヶ丘高等学校にて副代表水谷が特別講師を担当

委託元：東京都立桐ヶ丘高等学校
不登校を経験するなど多様な生徒が学ぶ定時制高校(チャンレンジスクール)、東京都立桐ヶ丘高等学校にて副代表水谷が特別講師を務めました。

筑波技術大学で代表小林が講演

委託元：筑波技術大学
全国唯一の視覚聴覚障害者のための国立大学・筑波技術大学にて代表小林が講演会を行いました。

港区立青山小学校で代表小林が講演

委託元：港区立青山小学校
港区立青山小学校5・6年生を対象に代表小林が学校公開日に合わせたパラアスリート特別講演会を行いました。

2月

国分寺市立第五小学校にて講演

委託元：国分寺市立第五小学校
東京都国分寺市立第五小学校の4年生約60名を対象に、総合的な学習の時間に視覚障害者理解を深める講演をさせていただきました。

東京都武蔵野市立第四小学校にて代表小林が特別授業を実施

委託元：東京都武蔵野市立第4小学校
東京都武蔵野市立第4小学校4年生全2クラスに代表小林が特別授業を行いました。

あわの虹ー視覚障害者のご家族のための会ーにて代表小林が講演

委託元：あわの虹
千葉県館山市政施行80周年記念事業「見えない」って何だろう?ー見えない・見えにくい方に関する講演会・相談会ーにて、代表小林が講演会に登壇しました。

北海道帯広盲学校の体育にてクライミングを指導

委託元：帯広盲学校
ボルダリングウォールが設置されている北海道帯広盲学校にて、小学部・中学部の体育の授業のゲストティーチャーとして、ウォールのセットとクライミング指導を行いました。

3月

株式会社高橋書店にて社内研修の講師を担当

委託元：株式会社高橋書店
株式会社高橋書店様にて社内研修の講師を務め、講演会と多様性理解のためのワークショップを実施しました。

東京都東大和市立第六小学校にて特別授業を実施

委託元：東京都東大和市立第6小学校
東京都東大和市立第6小学校5年生全2クラスの児童を対象に、代表小林が特別授業を行いました。

7月

ボルダリングジム モンキーマジックつくばQ'tで筑波大学大学院の特別授業

委託元：筑波大学
Tsukuba International Academy Sport Studies(TIAS)のオリンピックパラリンピック教育コースの学生を対象に、代表小林がゲストスピーカーとして授業を担当しました。



NPO法人ネクストワン主催「アドベンチャー」にて講師を担当

委託元：NPO法人ネクストワン
3月と7月に茨城県つくば市のNPO法人ネクストワン主催「アドベンチャー」クライミングの講師を、昨年度に続き担当しました。

福岡舞鶴ライオンズクラブにて講演

委託元：福岡舞鶴ライオンズクラブ
福岡舞鶴ライオンズクラブ第1179回定例会において、代表小林が講演を行いました。

メディア掲載・出演

8月

筑波技術大学の体育集中授業「フリークライミング」指導を担当

委託元：筑波技術大学
視覚・聴覚障害者を対象とした国立大学「筑波技術大学」の視覚障害者学部3・4年生を対象とした、体育集中授業「フリークライミング」の指導を担当しました。

ロッククライミングキャンプの指導を担当

委託元：NPO法人ネクストワン
茨城県つくば市NPO法人ネクストワン主催ロッククライミングキャンプ参加小学1年から中学3年まで21名の指導を長野県川上村の廻り目平キャンプ場にて担当しました。



代表小林が玉成保育専門学校にて講演

委託元：玉成保育専門学校
保育を学ぶ玉成保育専門学校の2年生の学生の皆さん向けに、代表小林が講演しました。

山と溪谷 2020年2月号に掲載

『山と溪谷 2020年2月号』に、「見えなくたってオンサイト」と題して、4ページに渡って掲載。

1月

河北新報に掲載

2/24(月)発行の河北新報スポーツ面に、モンキーマジックの活動が掲載されました。

2月

世界160カ国で放送される「NHK WORLD DIRECT TALK」に出演

海外向けの英語放送「NHK WORLD DIRECT TALK」にて、代表小林を追ったドキュメンタリー番組が放送されました。

3月



12月

日本NPOセンターにて代表小林がゲストスピーカーを担当

委託元：日本NPOセンター
日本NPOセンターのスタッフ交流月例会「草莽の集い」のゲストスピーカーを代表小林が務めました。

障害者週間オンラインセミナー講師を担当

委託元：千代田区社会福祉協議会 かがやきプラザ研修センター
障害者週間のオンラインセミナー「見えない壁だって、越えられる。」講師を代表小林が務めました。

情報誌「戸山サンライズ」に寄稿

福祉関連の啓発を目的とした情報誌「戸山サンライズ」に、スタッフ木本が寄稿しました。

5月

「KOREKARA」掲載

視覚障害者の可能性を広げるメディア「KOREKARA」に、代表小林のインタビューがYouTubeに配信されました。

6月

ノーバリアオンラインLIVE 2020に出演しました。

委託元：株式会社WOWOW
代表小林が2019年に引き続き、WOWOW主催のYouTubeライブに出演しました。



ご依頼はこちら

法人向けの研修やイベント、学校行事でのワークショップ、仮設壁イベントなどを承っています。

公益財団法人アイメイト協会HPの連載コラムに掲載

公益財団法人アイメイト協会にモンキーマジックの活動を取材していただき、HPの連載コラムに掲載されました。

6月

毎日新聞に掲載

毎日新聞に『見えない壁、越えられる？障害の有無問わず楽しめるクライミング』と題し、モンキーマジックの取材内容が掲載されました。

12月

サポートグッズ

寄せられた寄付の返礼品として差し上げているサポートグッズ。2020年は以下をリリースしました。

2020 THE NORTH FACE

等高線の上に「NO SIGHT BUT ON SIGHT」の文字をあしらったグラフィックは、モンキーマジックの原点でもある「外岩」でのクライミングをイメージ。自然を楽しみつつ高い壁を登っていこうという、力強いメッセージを込めています。



2020 CHUMS

大型のボストンバックなど全ラインナップが刷新。黒を基調とした外見に対し、裏地やデイパックの肩ベルトの裏面は鮮やかなオレンジ色の生地が使用されており、弱視（ロービジョン）の方も背負う時に見つけやすく、カバンの閉め忘れや裏返しになっていないか確認しやすい設計。



ファスナーチャームも見つけやすいように大きめに作られているなど視覚障害者への配慮がされています。

モンキーマジック布マスク

マスク不足が続き、手作りマスクが流行した最初の緊急事態宣言時に支援者の方の協力を得て、サポートグッズの「ご縁手ぬぐい」でつくった布マスクが期間限定でサポートグッズの仲間入りをしました。



15周年記念 クラシックTシャツ

15周年を迎えたNPO法人モンキーマジックの記念Tシャツ。背中には、2005年に視覚障害者向けのアウトドアスクール事業を開始した、法人設立当初のルーツともいえる当時の視力検査表(Cマーク/ランドルト環)のデザインです。

表の左胸には15周年限定デザインの「お祝い猿」がポイント。



Monkey Magic ロングTシャツ

モンキーマジック初のロングTシャツ。

シンプルですっきり着てほしいという想いを込めてデザインされました。

プリントは胸と腕に2つ。

胸にはモンキーマジックのスローガン「No Sight But On Sight! (見えなくても、一回で登り切れる!)」。腕にはモンキーマジックの四角ロゴを登り終えたサルのサムアップ(やったぜ!)のポーズのプリントがされています。



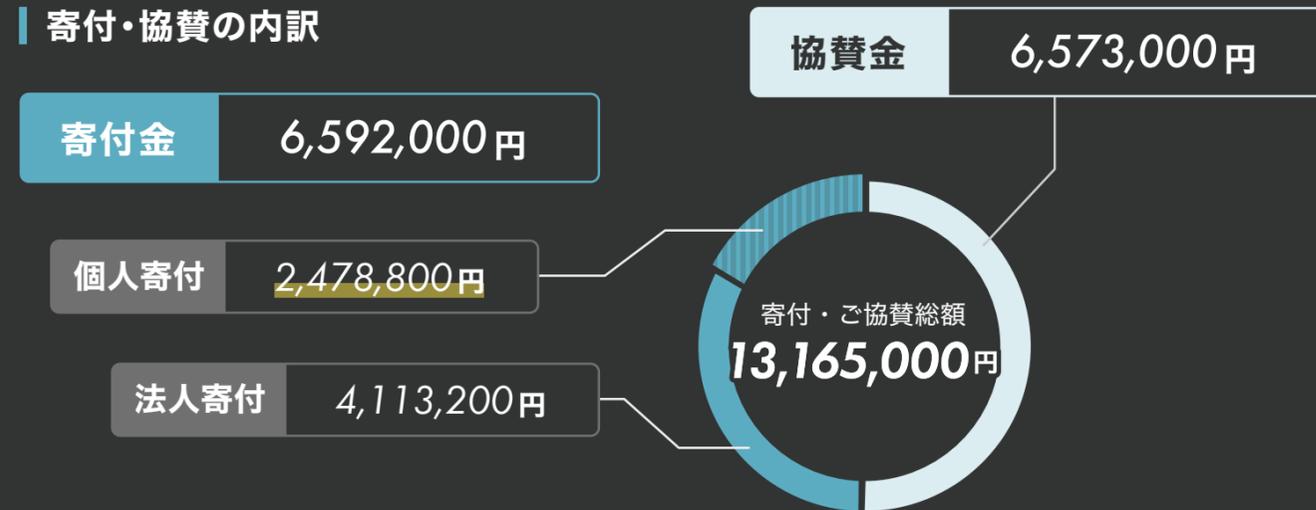
寄付金額に応じてサポートグッズをお贈りしています。

寄付金は視覚障害の児童生徒や大人を対象としたインドアジムや自然の岩場を利用したクライミングスクール、障害のある方もない方も共に楽しめる交流イベントの運営、講演会や体験会など様々な普及啓発活動へ使われます。

寄付・協賛

2020年の寄付・協賛について

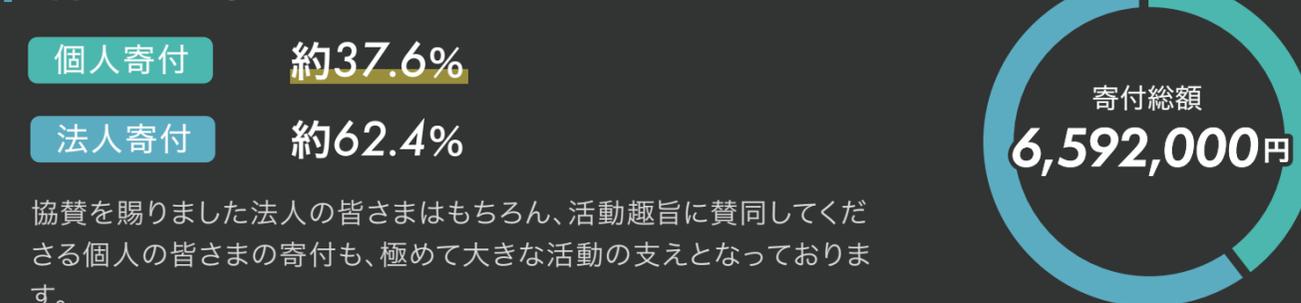
寄付・協賛の内訳



個人寄付の内訳



寄付金の比率



協賛を賜りました法人の皆さまはもちろん、活動趣旨に賛同して下さる個人の皆さまの寄付も、極めて大きな活動の支えとなっております。

改めて、御礼を申し上げますと共に、益々のご支援をよろしくお願い申し上げます。

支援企業様

寄付企業／団体(一部)

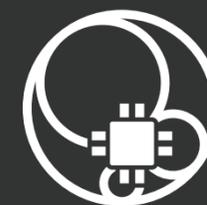
朝日ライフ アセットマネジメント株式会社 | 富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 | お金をまわそう基金 | アズビル株式会社 | azbilみつばち倶楽部 | 情報産業労働組合連合会 | 株式会社ヤフー | gooddo株式会社 | アサヒ飲料寄付型自動販売機設置各オーナー

協賛企業

THE NORTH FACE (株式会社ゴールドウイン) | CHUMS(株式会社ランドウエル) | アサヒ飲料株式会社 | 株式会社シーワテック | 株式会社箕面ビール | 株式会社敬洋 | 株式会社カンセキ | ボルサウルス | アンダーグラウンド

賛助企業

東商アソシエート株式会社 | 株式会社シーワテック



SHIEWA TECH



About NPO法人モンキーマジックとは？



ビジョン

障害者クライミング普及活動を通じて、多様性を認め合えるユニバーサルな社会を実現し、より成熟した豊かな社会を創ります。

ミッション

モンキーマジックは、「見えない壁だって、越えられる。」をコンセプトに、フリークライミングを通じて、視覚障害者をはじめとする人々の可能性を大きく広げることを目的とし、活動しているNPO法人です。

SNS



FOLLOW US!!

特定非営利活動法人モンキーマジック

2005年8月25日設立

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町4丁目11番6号

電話・FAX 0422-20-4720 MAIL info@monkeymagic.or.jp

<https://www.monkeymagic.or.jp/>